

この資料は監督会議で使用しますので印刷してご持参ください

# 平成28年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯 第67回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会

第61回全国高等学校自転車道路競走中央大会

## 監督会議資料

2016 情熱疾走 中国総体



美以咲け 君の笑顔と努力の華

日時：平成28年7月28日（木）14：00～14：50

会場：倉吉未来中心小ホール

# 平成28年度全国高等学校総合体育大会

## 大会特別規則

競技運営委員長 坂井田米治  
総務委員長 中梶 秀則  
審判長 寺崎 豪紀

### トラック・レース, ロード・レース共通事項

2016年(公財)日本自転車競技連盟規則, および大会特別規則で実施する。なお, 高体連専門部ホームページ (<http://www.hs-cycling.com/>) からダウンロードできる最新の競技規則解説を監督および競技者は熟読しておくこと。また, 各事項に示された場所については「参加案内」を参照すること。

**大会参加者は常に健康に留意し、熱中症対策に心がけてください。**

#### 1. ライセンスコントロール (選手・監督受付)

- (1) 日 時 7月28日(木) 13:00~13:50
- (2) 場 所 倉吉未来中心 小ホール
- (3) 要 領 各学校の監督は上記の場所・時間内に選手の競技者ライセンスを持参し提出すること。  
必要があれば各種申請用紙を提出する。なお, ライセンスの返却は, 開会式終了後受付場所において行う。ライセンスは配布されたIDカードに入れ, 会場では携行すること。

※1 身体形態上の理由による適用免除の事前申請はしなくてよい。

※2 ブリヂストン・サイクル社製カーボンフレーム(FPCPT)は使用を認めるので申請しなくてよい。

#### 2. 記録の配信

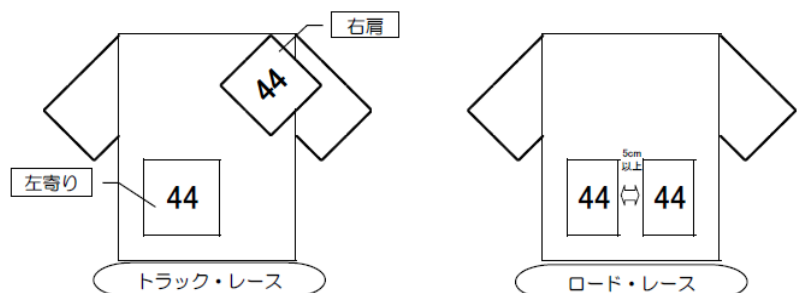
- (1) スタートリスト, リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示するので配布しない。
- (2) リザルトは, 大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等詳細は, プログラムに掲載する。

#### 3. ヘルメット

- (1) 選手はJCF公認およびJKA認定(競輪用)ヘルメットを練習時でも使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット, 劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- (2) JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は, 下記の種目の競技時のみ使用を認める。
  - ・スプリント予選(200mタイムトライアル)      ・男女タイムトライアル(以下TT)
  - ・3kmインディヴィデュアル・パーシュート(以下3kmIP)
  - ・チーム・スプリント(以下TS)      ・4kmチーム・パーシュート(以下4kmTP)

#### 4. ゼッケン

- (1) ボディ・ナンバー(男子白地に黒数字・女子ピンク地に黒数字)は下図を参考とし, 1枚の場合は腰部中央に取り付ける。
- (2) ロード・レースは①ボディ・ナンバー(シード選手は黄色字に赤数字)②フレーム・プレート(ヘッドチューブ左側またはサドル下)③ヘルメット・ナンバーシール(左右)を使用する。



# トラック・レース

## 1. 禁止事項

- (1) 走路保護のため、アップオイル等を体に塗ることを禁止する。
- (2) レーサーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- (3) 選手村以外での選手ピット設営は禁止する。

## 2. 走路入退場方法

入場口はホーム側、退場口はバック側とする。

## 3. 招集・自転車検査

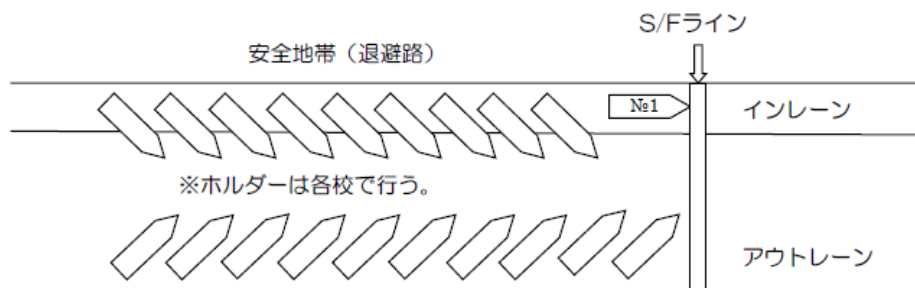
- (1) 招集・自転車検査所は入場口手前（管理棟横）に設置し、出走及び装備の確認、並びに自転車検査を実施する。
- (2) 招集時間は各自の出走予定時刻の15分前までとする。
- (3) TS, 4kmTPに出場するチームは、出走日の8:30までに招集所に出走するメンバーを届け出ること。
- (4) 自転車検査を受けた後は選手村に戻ることなく速やかに走路内へ入場すること。

## 4. ヘルメット・カバー使用種目

4km速度競走、ポイント・レース、スクラッチ、ケイリンについては、ヘルメット・カバーを使用するので、装着できるヘルメットを準備すること。

## 5. スタート方法

- (1) 発走機（スターティング・マシーン）使用種目  
男女TT, 3kmIP, TS, 4kmTPの第1走者については発走機を使用する。
- (2) ホルダー  
スプリント1/8決勝以降およびスクラッチ、ポイント・レースのホルダーは各チームで行い、その他の種目は競技役員が行う。ただし、ホルダーを準備できない場合は発走員に申し出ること。
- (3) ポイント・レースおよびスクラッチ  
スタート位置は下図を参考にすること。選手は安全地帯（退避路）で乗車し、各チームのホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置に着く。スタートリストの前半選手がインレーン、後半の選手がアウトレーンとし、ヘルメット・カバーがNo.1の選手は、インレーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、正式スタートする。



## 6. ケイリン

- (1) ケイリンの周回数は6周回、ペーサは残り2周回の1コーナー入口付近で離脱する。  
なお、離脱時のスピードは男子が50km/h、女子が45km/hとする。

## 7. 3kmIP, 4kmTP

- (1) 4kmTPは予選においては対戦方式とする。
- (2) 予選はタイム・レースとして実施する。選手（チーム）が追い抜かれそうな場合は先頭交代を禁止し、追い抜きが完了するまで体制を保ち走行する。追走した場合は失格とする。
- (3) 予選ラウンドにおいては、追い抜かれた選手（チーム）も完走する。

## 8. 勝ち上がり方法

### (1) スプリント

予選はタイム上位12名を勝ち上がりとして選出する。競技順は、1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝（以後5～8位決定戦以外2回戦制）、1/2決勝、順位決定戦とする。

### (2) 4km速度競走

各組予選（組数5）より上位4名を選出し、準決勝（2組）を行う。準決勝は各組より上位5名を選出し、決勝戦（10名）を行う。

### (3) ポイント・レース

男子：各組予選（組数3）より上位7名を選出し、決勝（21名）を行う。

### (4) ケイリン

組数・人数、勝ち上がり方法は以下の通りとする。

男子

1回戦（48名）：8組（6名）上位2名 ⇒ 2回戦へ

1回戦敗者復活戦（32名）：6組（5～6名）上位2名 ⇒ 2回戦へ

2回戦（28名）：4組（7名）上位3名 ⇒ 準決勝（12名）へ

準決勝（12名）：2組（6名）上位3名 ⇒ 決勝（6名）、下位3名 ⇒ 順位決定戦（6名）

女子

1回戦（12名）：2組（6名）上位3名 ⇒ 決勝（6名）、下位3名 ⇒ 順位決定戦（6名）

### (5) スクラッチ

男子：各組予選（組数3）より上位6名を選出し、決勝（18名）を行う。

## 9. ギア比について

(1) U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリーを適用する。

(2) ギア比チェックは、上位入賞者およびランダムに選出された対象者に対し実施する。競技終了後のギア比チェックはバンク内で行うため、対象者は速やかにチェックを受ける。

## 10. バンク内での指示

走路内からの指示はできない。ただし、パーシュート種目、タイムトライアル種目についてのみ1名認める。そのエリアについては、監督会議で指示する。

## 11. 種目別表彰

トラック・レースの表彰は、管理棟正面テント内特設表彰会場において実施する。対象競技者は指定された時間の15分前までに登録されたジャージ着用で、式典にふさわしい容姿で参加すること。（サンダル、サングラスの着用禁止）

なお、団体種目の1位～3位は出走者全員、4位～8位は代表者1名が参加すること。

## 12. その他

(1) ホーム、バックからの同時スタート種目では、欠場があっても発走組は変更しない。しかし、欠場が多数ある場合はこの限りではない。

# ロード・レース

## 1. ロード・レースのみ参加校の受付及び予備選手への変更

- (1) 受付日時 8月1日(月) 9:00~11:00
- (2) 受付場所 広島県立中央森林公園サイクリングロード大会本部(参加案内P.20参照)
- (3) 予備選手への変更は、所定の用紙で総務委員長へ申請すること。(補欠選手への変更は認められない。)

## 2. 招集・検車

- (1) 日時 8月2日(火) 7:40~8:30
- (2) 場所 (参加案内参照)
- (3) 要領 招集所で装備の確認と自転車の検査・チップの検査と動作テストを受け、サイン・シートに氏名を記入する。  
ギア比チェックは上位完走者にフィニッシュ後実施する。(10. ギア比について参照)  
自転車検査を受けた後のポジション変更や調整はしないこと。

## 3. スタート時刻

9:00(選手は20分前にフィニッシュ地点整列)

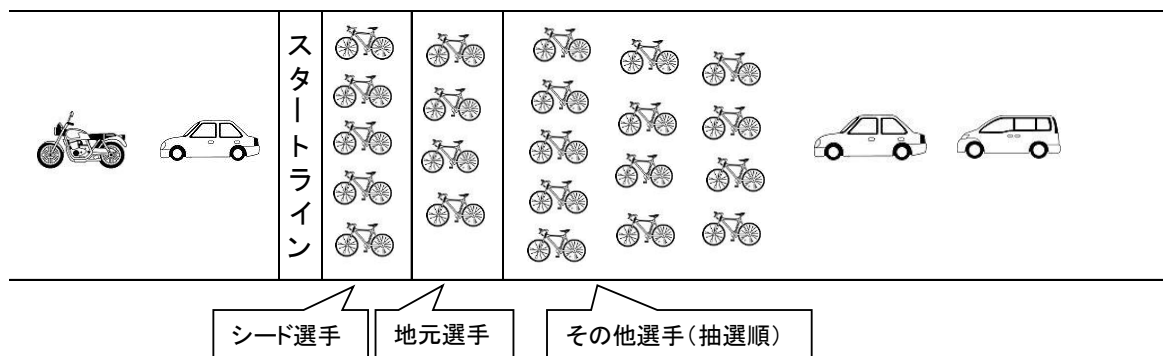
## 4. スタート位置

前年度の高校総体、選抜大会入賞者および国民体育大会入賞選手はシード選手として最前列に位置する。その後方には開催地競技者とし、その他の競技者は3列目以降抽選順とする。(下図参照)

【シード選手】 ①H27高校総体なし、②H27選抜入賞選手6名、③H27国体入賞選手1名

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| #1 大町健斗(安芸府中3年) | #2 栗原 悠(千原台3年)  |
| #3 花田聖誠(昭和第一3年) | #4 奥村十夢(榛生昇陽3年) |
| #5 亀谷昌慈(岐阜第一3年) | #6 尾形尚彦(東北3年)   |
| #7 重満 丈(北中城3年)  |                 |

※本年度のシード選手は黄色地に赤文字のゼッケン(NO.1~7)を使用する。



## 5. 距離およびスタート方式について

1周 1.6km + 12.3km × 8周回(98.4km) 計100.0km

スタート位置はフィニッシュ地点から1.6km後方(用倉大橋下)とする。本部エリア前に上記の順番で整列後、スタート位置へまとまって移動する。

安全上の理由により、上り入口(スタート地点から約600m付近)までパレードスタートとする。

## 6. 山岳賞について

3周回目、6周回目の展望所を1位通過者に山岳賞を与える。

## 7. 補給所

以下の要領で各チームからの選手への補給を認める。

- (1) 補給エリア・・・フィニッシュ地点手前の左側のみ認める。  
補給エリアの始点および終点は看板により明示する。
- (2) 補給員数・・・人数は参加選手を上限とし、補給員はIDカードを必ず着用のこと。
- (3) 補給周回・・・3周回目完了直前から最終周に入る直前までとする。放送でも連絡する。  
気象条件により変更する場合はコミュニケで掲示する。
- (4) 投棄エリア・・・補給エリアの前後左側に設定している。

## 8. 関門所での打ち切り

- (1) 関門所・・・フィニッシュ地点に関門所を設置する。
- (2) 打ち切り・・・各周回8位選手を含む集団から5分遅れた競技者を失格とする。  
ただし、レースの状況により、相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。  
失格となった競技者は、ボディ・ナンバー1枚、計測チップを外し、関門審判員に渡す。なお、最終周回は、8位選手を含む集団から10分遅れた競技者を失格とする。

## 9. 機材サポートとインフォメーション

- (1) ニュートラル・カー（2台）、ニュートラルバイク（3台）インフォメーション・バイク（3台）を主催者で準備する。
- (2) リアホイールはシマノ10速と11速を用意している。計測チップ配布時に10速、11速の申告をすること。
- (3) チームスタッフからの機材補給は認めない。
- (4) 提供を受けた機材の返却は、選手招集・検査所へフィニッシュ後直ちに返却し、各自の車輪と交換すること。

## 10. ギア比について

- (1) U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリーを適用する。
- (2) フィニッシュした選手は、フィニッシュ地点付近のギア比チェック所（参加案内P13参照）において競技役員の誘導に従い、ギア比チェックを受けること。（上位20位程度）  
チェックを受けなかった場合は失格となる。

## 11. 計測チップの配付および返却

- (1) 配付日時 8月1日（月）9：00～15：00
- (2) 配付場所 広島県立中央森林公園サイクリングロード フィニッシュ地点付近招集テント
- (3) 返却日時 8月2日（火）レース終了後
- (4) 返却場所 フィニッシュ地点付近招集テント
- (5) その他 計測チップを紛失・破損した場合は実費請求することもある。

## 12. 表彰式・閉会式

- (1) 開始予定時刻 8月2日（火）13:00～
- (2) 会場 広島県立中央森林公園 特設表彰式会場
- (3) 入賞選手、入賞校は表彰式の15分前には会場に集合すること。
- (4) 入賞者は、登録されたジャージまたはユニフォームを着用し、式典にふさわしい容姿で参加すること。ただし、座席で待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。（サンダル、サングラスの着用禁止）
- (5) ロード総合優勝校は2名、2位以下は代表1名が出席すること。
- (6) 学校対抗総合優勝校は出場選手全員、2位以下は代表1名が出席すること。
- (7) 関係者の参加 表彰式へは保護者・応援者も参加することができる。